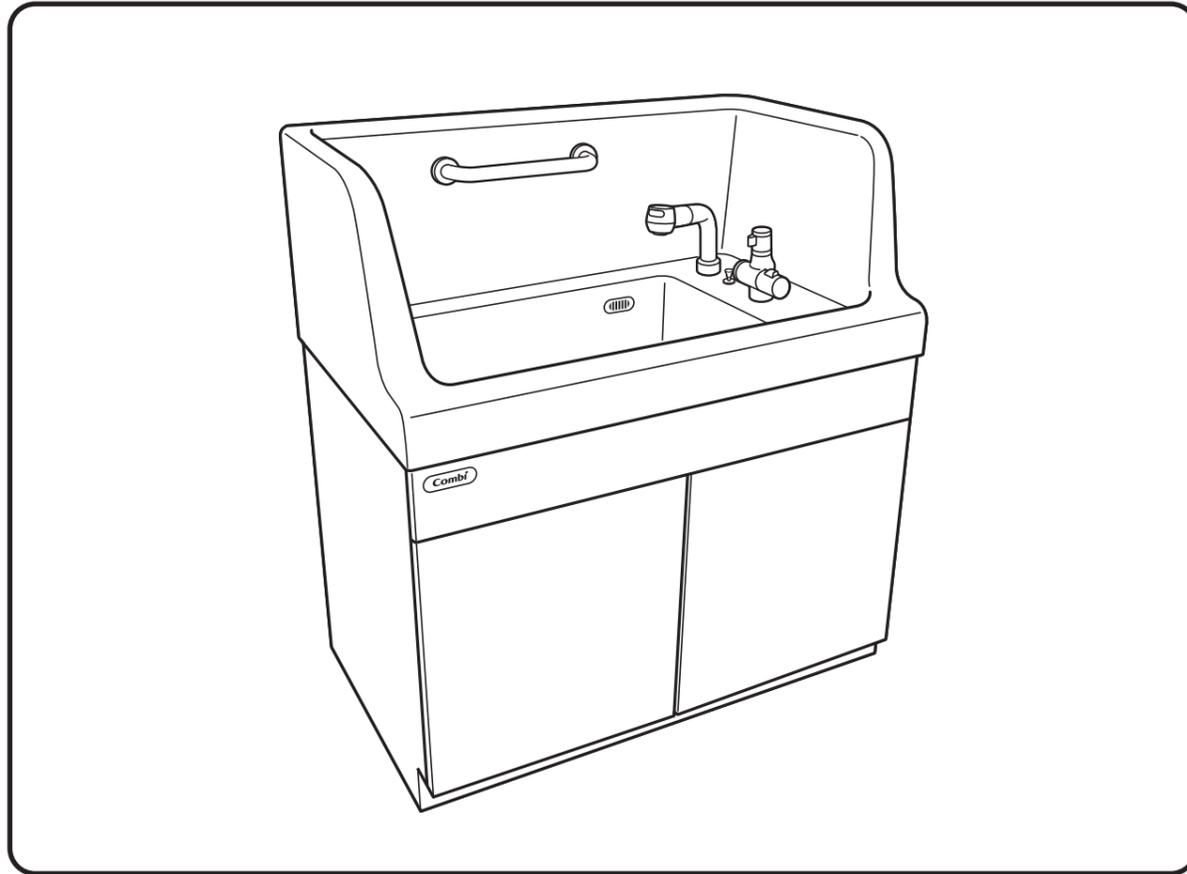


Combi コンパクト沐浴ユニットMU31 施工説明書



この度は Combi コンパクト沐浴ユニット MU31 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この製品はさまざまなお子さまがご使用になりますので、皆さまが快適にご使用いただくためには、お施主さまの安全管理が大切です。
本書の内容に従って正しく施工管理して下さるようお願いいたします。

水栓金具の施工は、付属品の「水栓金具 施工説明書」をご参照ください。

目次

■ Combi コンパクト沐浴ユニットMU31 施工説明書

1 安全に施工していただくために	2
2 施工者のかたへのお願い	2
3 各部のなまえ	3
4 工事説明	4
事前の給水・給湯、排水工事準備	4
製品設置時の給水・給湯、排水工事準備	4
5 設置手順	5

■ 巻末資料

施工図(壁給水)

施工図(床給水)

Combi コンパクト沐浴ユニット MU31 施工説明書

本施工説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

1 安全に施工していただくために

- ここに示した注意事項は、施工方法、及び取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

警告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

2 施工者のかたへのお願い

警告	●製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	●製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	●故障した製品は、放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりするとケガや、重大事故の原因になります。
	●目的以外の用途での使用はおやめください。 お子さまが遊んだり、もぐったりすると、おぼれたりケガをするおそれがあります。

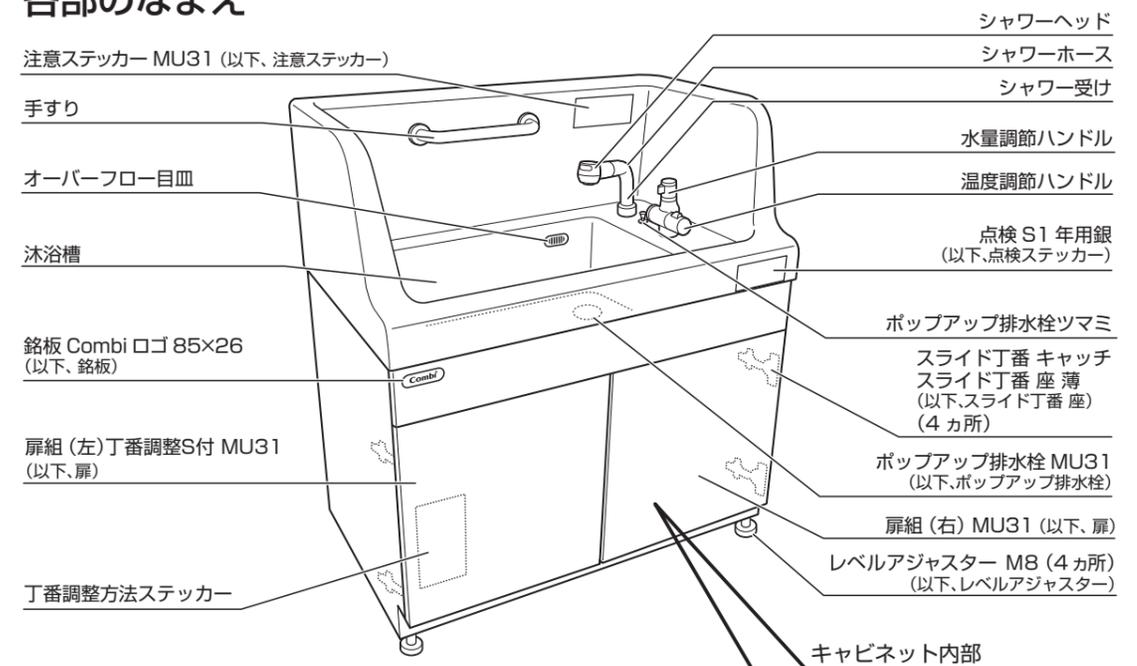
※施工終了後、製品表面を乾かして、ほこりを取り除いてください。

警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●専門技術者以外の方は、絶対に取り付け、修理を行わないでください。 ●湯水の配管を逆にしないでください。水を出そうとしても湯が出てヤケドをすることがあります。 ●本体が倒れて思わぬ事故につながりますので、下記の事項をお守りください。 <ul style="list-style-type: none"> ・設置は必ず壁ぎわに設置してください。使用中本体が倒れることがあります。 ・本体上部を手前や横に強く引っばったり、倒したりしないでください。 ・扉部分に強い力をかけたり、衝撃を与えたりしないでください。 ・設置後や地震発生後は固定部のゆるみがないか確認してください。 ●水漏れ事故はお客さまだけでなく近隣にも多大な迷惑、損害を与えます。施工時、施工後に水漏れなどがないか接続部の点検・確認をしてください。 ●凍結が予想される場所には設置しないでください。 ●屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けしないでください。取り付けが不安定になり、本体が倒れてケガ、ときに死亡するおそれがあります。 	

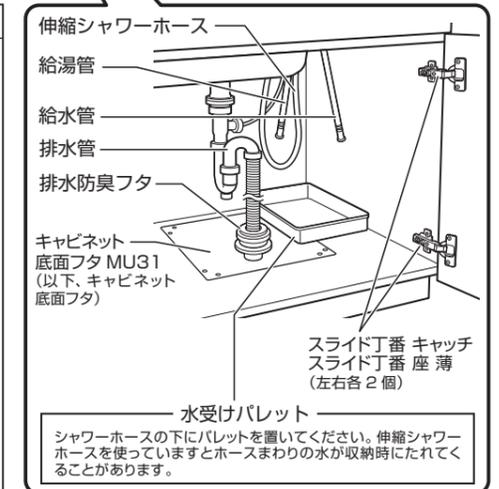
注意

- 製品本体が水平になるよう必ずレベルアジャスターで調節してください。浴槽の湯がこぼれやすくなります。
- 床面に水を流して清掃するような場所（調理室のタイル床など）へは設置しないでください。木部が腐って強度が保てなくなることがあります。
- 伸縮シャワーホースの下に付属の水受けパレット（中）を設置してください。伸縮シャワーホースを使用していると、ホース周りの水が収納時にたれてくる可能性があります。
- 施工時、配管内に切りかすや粉じんが入らないように注意してください。混合水栓が詰まって温度調節ができなくなるおそれがあります。
- 施工前に必ず配管内の掃除を行ってください。水栓金具が詰まって湯水が出なくなるおそれがあります。
- 施工作業時には扉をはずして作業してください。指をはさんだりケガをするおそれがあります。
- 扉を100°以上開けないでください。丁番が破損します。なお、設置作業などの際、扉は丁番からワンタッチで取りはずすことができます。
- 温度調節ハンドルを動かして確実に機能していることを確認してください。
- 本体FRPと壁の間は必ずシリコン材などでコーキングしてください。壁と製品の間に入水が入り、腐食や破損の原因となります。
- 使用する水は、必ず上水道をご使用ください。皮膚の炎症などを起こす場合があります。
- キャビネットや浴槽の上に乗って、作業をしないでください。足をすべらせてケガをしたり、製品に傷をつけるおそれがあります。
- 製品に硬いものを落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。破損して、浴槽にヒビが入りケガをしたり、水漏れを起こすおそれがあります。
- 給水、給湯管および排水、排水管の接続は手順に従って確実に行ってください。誤った施工をすると漏水をおこすおそれがあります。

3 各部のなまえ

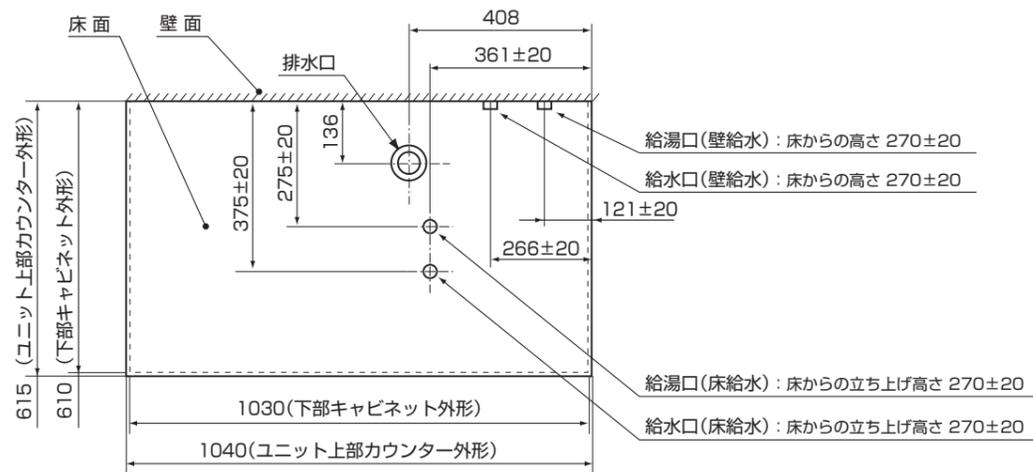


付属品 ※次の部品があることを確認してください。		
●説明マニュアル MU3 <保証書付>…1部	●施工説明書 MU3 本紙…1部	●水栓金具 施工説明書…1部
		●水栓金具 取扱説明書 <保証書付>…1部
		●水栓金具 工具…1個
●水受けパレット (中) (以下、水受けパレット) …1個	●アングル止水栓 (接続金具なし) …2個	●クイックファスナー 接続金具袋入り MU …1セット
		●抜け止めカバー …2個
		●クイックファスナー …2個
		●接続金具 …2個
		●パッキン …2個



4 工事説明

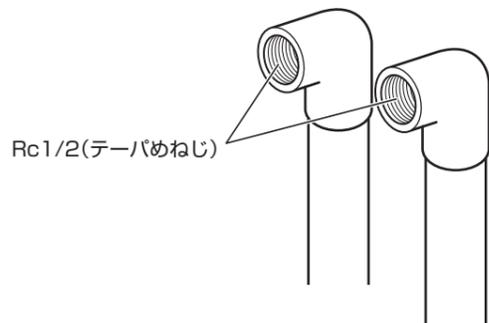
排水口、給水口・給湯口を下図の位置にしてください。(下図は当社の推奨位置です。)



■ 事前の給水・給湯、排水工事準備

(1) 給水口・給湯口

- ① 壁から給水口・給湯口を接続する場合は、上図(壁給水)の推奨位置でRc1/2(テーパめねじ)を水平に出してください。
 - ② 床からは、上図(床給水)の推奨位置から給水口・給湯口を立ち上げ、先端はエルボなどでRc1/2(テーパめねじ)が水平になるようにしてください(下図)。
- ※ 施工時に、市販の給水管・給湯管(両側オスR1/2(テーパおねじ))を接続できるようにしてください。
 ※ 給水管、給湯管の施工は、6ページ「**5** 設置手順4 給水管、給湯管、水栓金具を接続する」で行います。



(2) 排水口

- ① 排水口は上図の推奨位置とし、呼び径40mmで、直線出っ張りが20mm以上にしてください。
- ② 製品付属の排水管は、径が約35mmの塩ビ製ジャバラホースです。
- ③ 排水口は必ず、床面に設置してください。壁面排水では勾配が取りにくく、排水が流れなくなることがあります。

- (3) ガス瞬間式給湯器を使用する場合には、快適なシャワー(吐水量が8L/min時に水温度42℃を確保)を得るために、12号以上の給湯器を設置してください。給湯器の場合は、温度変化が発生しやすいのでシャワーは適温を確認して使用するよう、施工側に説明をお願いします。

■ 製品設置時の給水・給湯、排水工事準備

(1) 給水管・給湯管

- ① 給水口・給湯口の出口長のバラツキがありますので、現地で長さをあわせられるよう、市販の呼び径13mmの給水管・給湯管(両側オスR1/2(テーパおねじ)、SANEI V22J-62推奨)を適宜ご準備ください。または、金属パイプ、切断用カッター工具、ネジ切り工具を用いてR1/2(テーパおねじ)接続部を準備してください。
 - ② 木工用にホールソー、カッターのこぎりを準備してください。
 - ③ 給水管・給湯管とアングル止水栓の接続時に必ずシールテープを巻いてください。
- ※ アングル止水栓や、クイックファスナーの詳細な接続方法については、付属品の「水栓金具 施工説明書」をご参照ください。

5 設置手順

必要工具 下記の工具を用意してください。
 プラスドライバー(No.2)



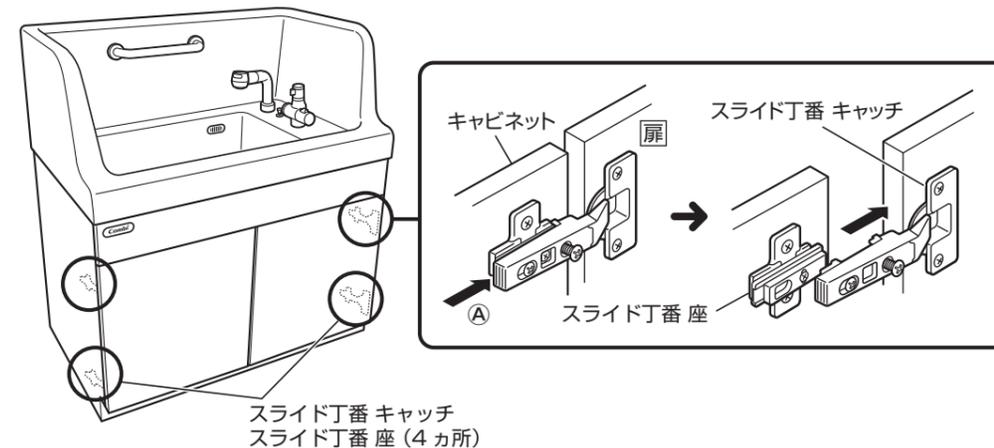
※必要に応じてホールソーなどをご用意ください。



増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

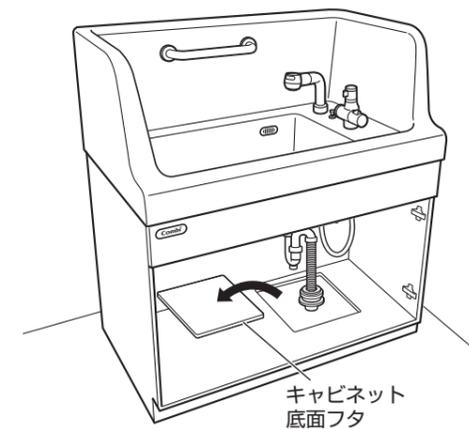
1 扉をはずす。

スライド丁番 キャッチのAの部分を押し、スライド丁番 座からスライド丁番 キャッチと扉をはずします。

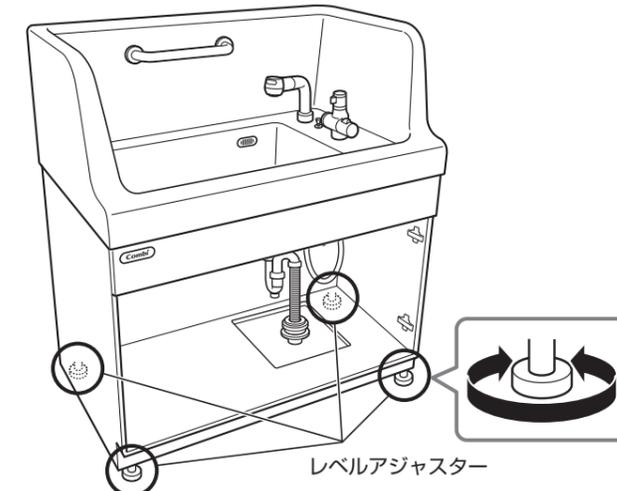


2 製品本体を設置場所に仮置きする。

排水口、給湯管、給水管の位置を合わせ、ホールソーなどでキャビネット底面フタに適切な大きさの穴をあけてからキャビネット底面フタをはずします。



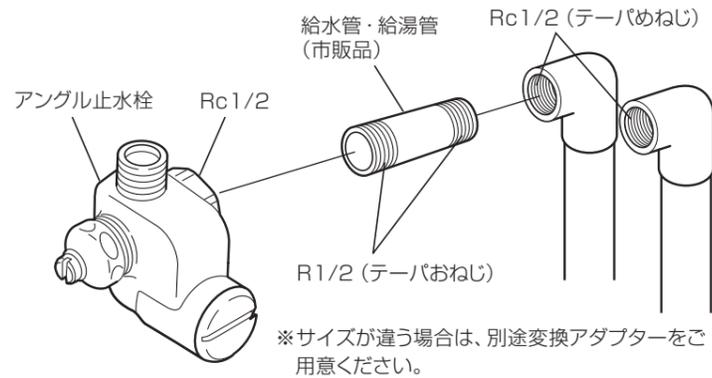
- 3 設置したら、ガタつきのないように下部にある4カ所のレベルアジャスターを調節して、製品本体が水平になるように設置する。



4 給水管、給湯管、水栓金具を接続する。

接続方法については、付属品の「水栓金具 施工説明書」をご参照ください。

※アングル止水栓やクイックファスナーの施工は、水栓金具・施工説明書「施工について」をご参照ください。

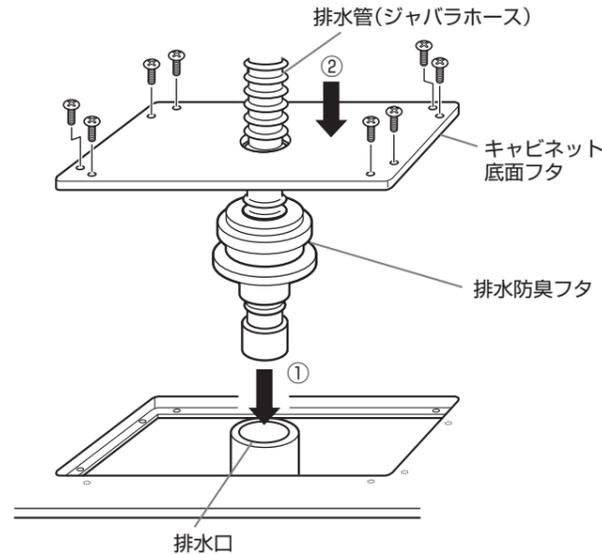


注意 給湯温度が60℃を超える場合には、止水栓などを断熱材で覆ってください。触れるとヤケドのおそれがあります。

5 排水管を接続する。

- ① 排水防臭フタを通した排水管のジャバラホース先端を排水口に入れ、排水防臭フタを押し込みます。
- ② キャビネット底面フタをネジ(8カ所)でとめます。

■付属「排水防臭フタ」排水口適合内径：φ40、φ44、φ56、φ71、φ77



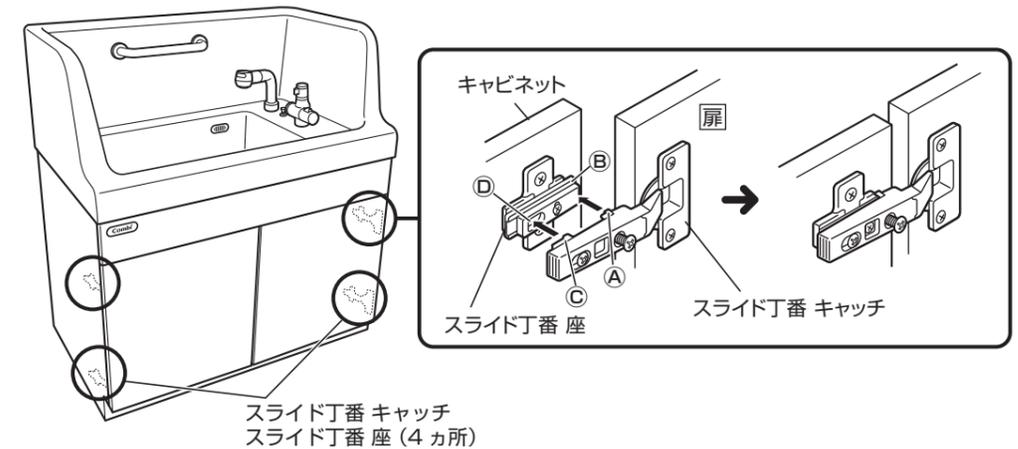
6 水受けパレットを伸縮シャワーホースの下部に置く。

7 実際に湯水を出してチェックする。

- 給湯器を作動させ、お湯が出る設定にします。
- 給湯水、排水接続部に水漏れがないかチェックします。
- サーモスタットが機能するかチェックします。
- 伸縮シャワーホースを伸縮して配管部に引っかからないかチェックします。

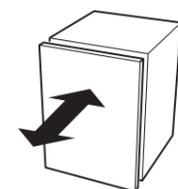
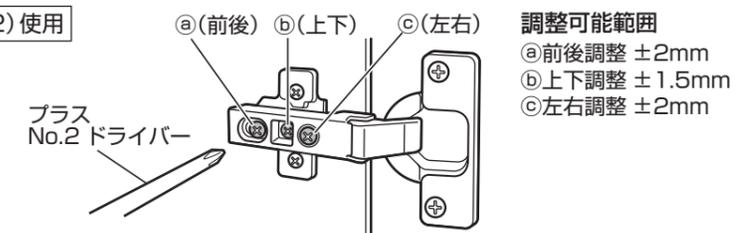
8 扉(左右)を取り付ける。

Ⓐのツメをⓑ部にひっかけ、Ⓒのツメをⓒ部にはめる。

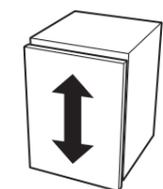


扉の調整方法

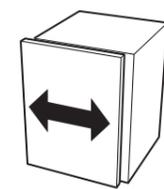
プラスドライバー(No.2)使用



前後調整
ネジⒶをゆるめ、扉(左右)を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



上下調整
ネジⒷをゆるめ、扉(左右)を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。

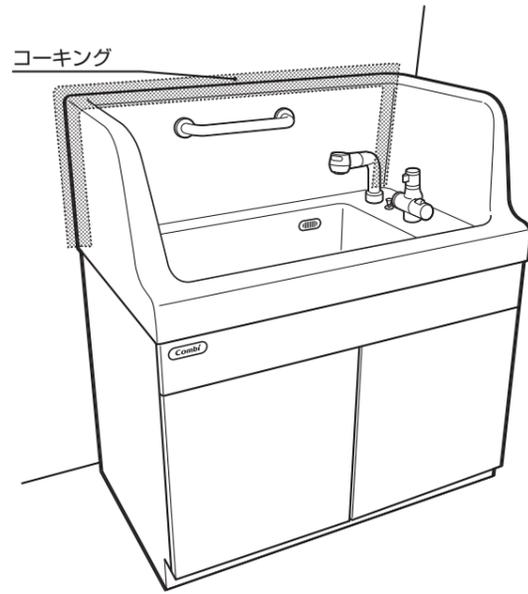


左右調整
ネジⒸを左右に回して適当な位置を選びます。



注意 扉は100°以上開かないでください。それ以上開くと、スライド丁番座を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがあります。

9 カウンタートップと壁の設置面をコーキングする。



警告

取り付け完了後は、必ず説明マニュアルの「日常点検」(7～10ページ)を参照の上、点検してください。施工が不完全のまま使用された場合、ケガや重大事故の原因になります。

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ(www.combiwith.co.jp)からもダウンロード(PDF)できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

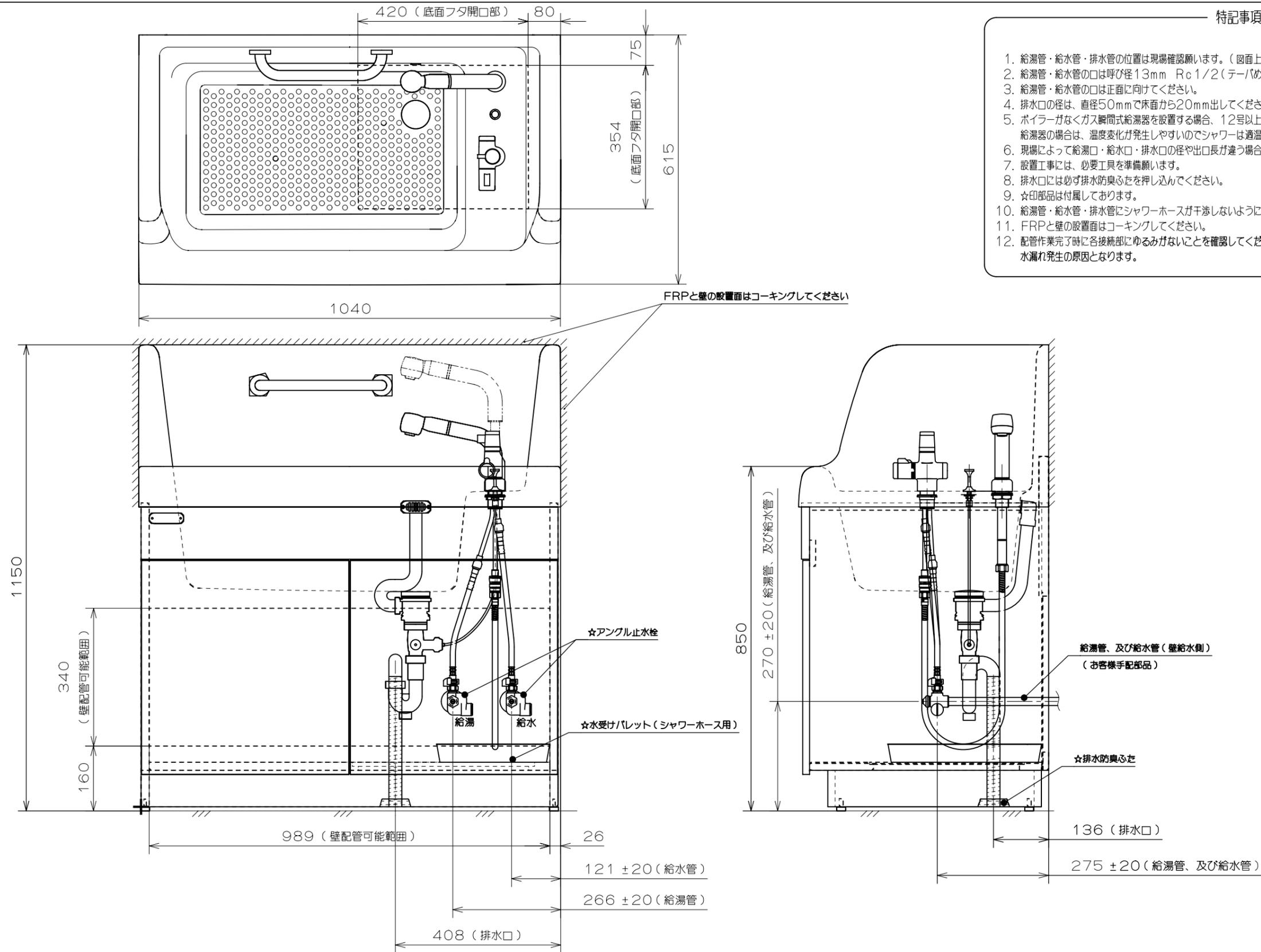
コンビウィズ株式会社

本社/〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7
URL/www.combiwith.co.jp

●修理・点検に関するお問い合わせ/コンビウィズ(株) サービスセンター

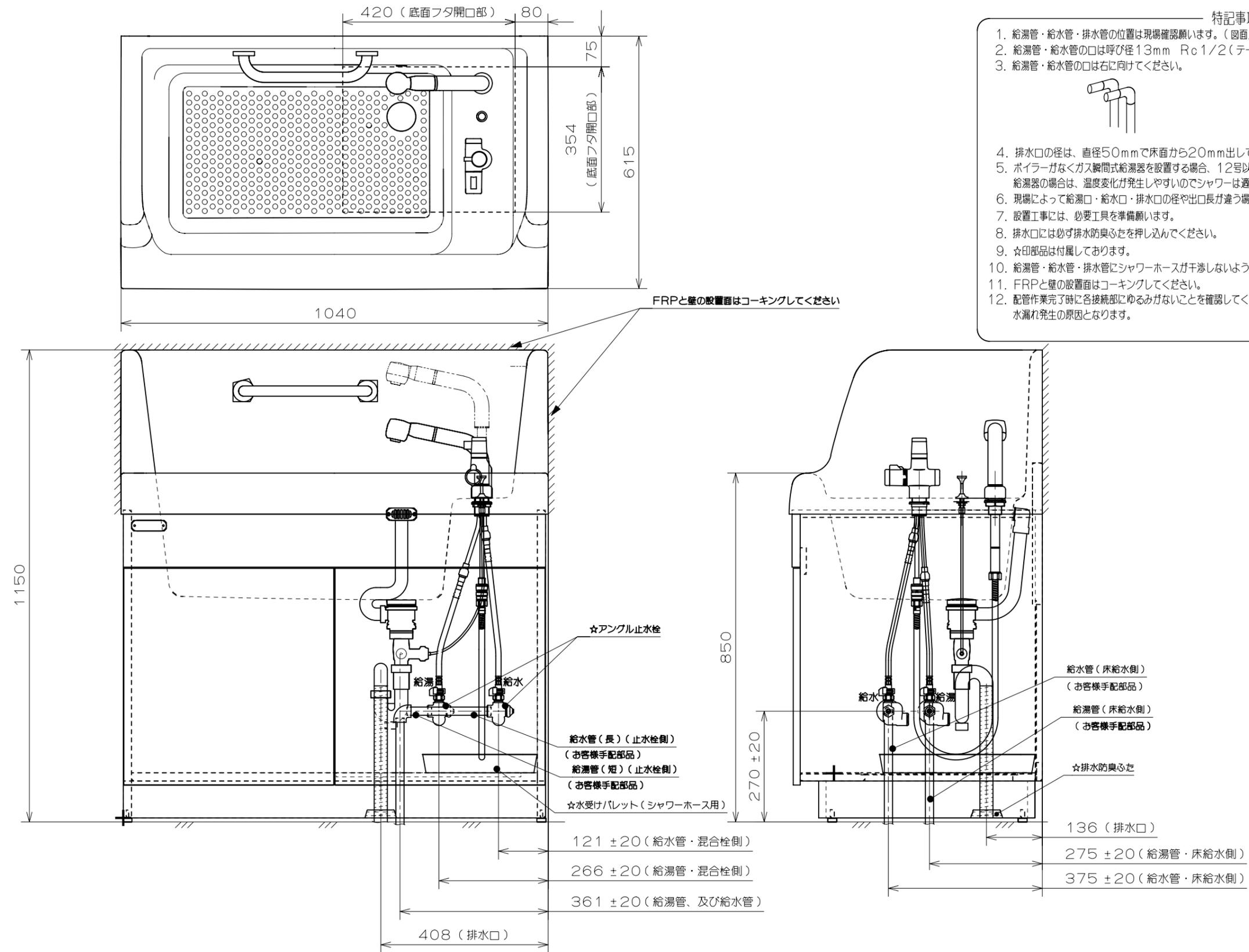
[受付時間] 祝祭日を除く、月～金 10:00～17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630



- 特記事項
- 給湯管・給水管・排水管の位置は現場確認願います。(図面上の寸法は参考です)
 - 給湯管・給水管の口は呼び径13mm Rc 1/2 (テーパめねじ) にして下さい。
 - 給湯管・給水管の口は正面に向けてください。
 - 排水口の径は、直径50mmで床面から20mm出して下さい。
 - ボイラーがなくガス瞬間式給湯器を設置する場合、12号以上の給湯器を設置してください。
給湯器の場合は、温度変化が発生しやすいのでシャワーは適温を確認して使用するよう施主側に説明願います。
 - 現場によって給湯口・給水口・排水口の径や出口長が違う場合は、恐れ入りますが部品など現場対応にてお願いします。
 - 設置工事には、必要工具を準備願います。
 - 排水口には必ず排水防臭芯を押し込んで下さい。
 - ☆印部品は付属しております。
 - 給湯管・給水管・排水管にシャワーホースが干渉しないようお願いします。
 - FRPと壁の設置面はコーキングしてください。
 - 配管作業完了時に各接続部にゆるみがないことを確認してください。
水漏れ発生の原因となります。

本図の寸法は参考値となります。
施工図（壁給水）



特記事項

1. 給湯管・給水管・排水管の位置は現場確認願います。(図面上の寸法は参考です)
2. 給湯管・給水管の口は呼び径13mm Rc 1/2 (テーパめねじ) にして下さい。
3. 給湯管・給水管の口は右に向けてください。



4. 排水口の径は、直径50mmで床面から20mm出してください。
5. ボイラーがなくガス瞬間式給湯器を設置する場合、12号以上の給湯器を設置してください。
給湯器の場合は、温度変化が発生しやすいのでシャワーは適温を確認して使用するよう施工側に説明願います。
6. 現場によって給湯口・給水口・排水口の径や出口長が違う場合は、恐れ入りますが部品など現場対応にてお願いします。
7. 設置工事には、必要工具を準備願います。
8. 排水口には必ず排水防臭芯を押し込んでください。
9. ☆印部品は付属しております。
10. 給湯管・給水管・排水管にシャワーホースが干渉しないようにお願いします。
11. FRPと壁の設置面はコーキングしてください。
12. 配管作業完了時に各接続部にゆるみがないことを確認してください。
水漏れ発生の原因となります。

本図の寸法は参考値となります。